

エルゴフィンガーとテペ プラークサーチを用いた エアフロー臨床ケース

高田歯科
合同会社132PRODUCTS 代表
(兵庫県神戸市)
歯科衛生士 **高橋 規子**



エルゴフィンガーを用いたエアフローの臨床ケースを提示します。

まず、[テペ プラークサーチ](#)を用いて染色を行います。タブレット形状の染色剤のため、キャップの開閉時の液漏れリスクがなく、小児の患者さんなど意図せず飛び散る心配が軽減され、安心して使用できます。

また、新しいプラークは赤色、12時間以上経過した古いプラークは青色に染色されます。



染色後マイクロスコープで観察したところ、#16口蓋側歯頸部では青色にプラークが染色され、#12口蓋側歯頸部では赤色にプラークが染色されました。



その後、エアフローにはEMS社のエアフローハンディ3.0を使用しメンテナンスを行いました。この際、エルゴフィンガーを患歯に近づけることで、飛沫を可能な限り防いだ状態でエアフローを用いて#31歯頸部のプラーク除去に成功しました。染色部位だけでなく、少量のステインも痛みなくスムーズに除去できるため、患者さんからも好評です。



染色前

染色後

エアフロー後



エアフロー前

エアフロー中

エアフロー後

エルゴフィンガーは、操作性の向上と衛生管理の向上を両立しており、日々の診療をより快適に進めることができるツールであると言えるでしょう。



エルゴフィンガー